

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 第3アミスター			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～	令和 7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～	令和 7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 14日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な学校の子どもたちが在籍していることで幅広い交流関係を築くことができる。	幅広い関わりを持つ事を目的としたレクリエーションや遊びを取り入れている。	子どもたちのアイデアを取り入れながらより積極的な交流を図る。
2	集団療育・小集団療育・個別療育を状況に合わせて使い分けて療育を設定し、互いの気持ちを尊重しながらコミュニケーションがとりやすい環境づくりをしている。	それぞれの特性を意識した環境を設定するだけではなく、文章や絵・図なども用いて対応している。	様々な職員でも対応できるように、子どもたちへの取り組みをルーティン化してまとめる。
3	見通しをもった生活ができるよう、スケジュールの可視化や生活の導線を意識した空間作りをしている。	スケジュールを可視化するだけでなく、子どもたちの関心度が高い事柄については文章や絵・図を用いて説明している。	子どもたち自身が「今、なにをするのか」を理解できるよう、一緒にスケジュールを組み立てるなど、子ども達の特性に合わせて様々な取り組みを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多様な学年の子どもたちが在籍しているため、活動によっては全員が満足出来ない場合もある。	学年によって身体能力や言語能力などに違いがあるため。	学年の違いがあるからこそ「教える・教わる」というコミュニケーションや「相手の学年に応じた言葉遣い」を学ぶ事を目的として療育を計画する。
2			
3			